

1969 ~ 1970

日高ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1969. 8. 20



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡めていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより權威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

1947

- 1. 1947年1月1日以前に作成されたもの
- 2. 1947年1月1日以後に作成されたもの
- 3. 1947年1月1日以後に作成されたもの
- 4. 1947年1月1日以後に作成されたもの
- 5. 1947年1月1日以後に作成されたもの

附 録

- 1. 1947年1月1日以前に作成されたもの
- 2. 1947年1月1日以後に作成されたもの
- 3. 1947年1月1日以後に作成されたもの
- 4. 1947年1月1日以後に作成されたもの

1947年1月1日以前に作成されたもの

おまけ

1969 ~ 70年度のテーマ

Review and Renew

検討し 更新しよう

1. これまでのクラブの活動計画を検討し、必要に応じてあるものは統合し、あるものは削除し、またあるものは拡大強化すること。
2. クラブ内部におけるロータリー活動に新しい生気を吹込むこと。
 - イ、新たな活動分野を探し求め、現状をもつて足れりとしなすこと。
 - ロ、新しい工夫を加えて、若返らせること。個々のロータリアンに対しては、次の点を強調します。
 - イ、何事であれ、これで充分だと安心しないこと。
 - ロ、行動の精神、そして楽天的な精神と熱情の火を新たに燃えあがらせること。
 - ハ、新会員を探し求めること。(その気になれば見つかるのです)これは、
 - (1) 新しい人々にロータリーを分ち与える機会をつくるためであらう、そしてまた
 - (2) 活動分野の拡大に伴って、各委員会に必要な人材を揃えるのを容易にするためであります。
 - ニ、評判だけでなく、実質的にも指導者として先頭に立つこと。
 - ホ、各自の事業あるいは専門職業において、四つのテストを毎日実践すること。
 - ヘ、公共の利益を増進し、汚職腐敗を根絶し、不正と戦い、各自の地域社会が発達と発展を続けることができるよう努力すること。
 - ト、自ら先頭に立って、よりよき社会、よりよき世界への希望を新たに燃えあがらせること。
 - チ、心構えを新たにすて、超我の奉仕に献身し、自からを新たにすることによって、ロータリーに生気をよみがえらせること。

ジェームス F. コンウェイ R. I. 会長

1931年1月1日

第 1 号 1931年1月1日

第 2 号 1931年1月1日

第 3 号 1931年1月1日

第 4 号 1931年1月1日

第 5 号 1931年1月1日

第 6 号 1931年1月1日

(a) 第 7 号 1931年1月1日

(b) 第 8 号 1931年1月1日

第 9 号

第 10 号 1931年1月1日

第 11 号 1931年1月1日

第 12 号 1931年1月1日

第 13 号 1931年1月1日

第 14 号 1931年1月1日

第 15 号 1931年1月1日

第 16 号 1931年1月1日

第 17 号 1931年1月1日

第 18 号 1931年1月1日

第 19 号 1931年1月1日

第 20 号 1931年1月1日

第 21 号 1931年1月1日

目 次

クラブ協議会プログラム	1 頁
役員並びに委員名簿	2
会長報告	3
幹事報告	4
会計報告	5
クラブサービス報告	5
出席奨励委員会報告	6
職業分類委員会報告	7
会員選考委員会報告	8
会員推薦委員会報告	8
プログラム委員会報告	9
広報委員会報告	9
親睦委員会報告	10
ロータリー情報委員会報告	11
会報・雑誌委員会報告	12
S . A . A 報告	12
職業奉仕委員会報告	13
社会奉仕委員会報告	13
青少年奉仕委員会報告	14
国際奉仕委員会報告	15

附 表

昭和44年度予算書

会員名簿

職業分類一覧表

(別紙)

クラブ協議会プログラム

1969.8.20

於 鶴 鳴 館

17:00~17:01	開 会 の 辞	副 会 長	久 保 田 彦 穂
17:01~17:04	ロータリーソング(奉仕の理想) 斉唱		
17:04~17:10	歓迎の辞及びガバナー 分区代理紹介	会 長	佐 伯 延 次 郎
17:10~17:15	ガバナー挨拶	ガバナー	日 高 安 壮
17:15~17:25	会 員 自 己 紹 介		
17:25~	会 長 報 告	会 長	佐 伯 延 次 郎
	幹 事 報 告	幹 事	高 井 敏 治
	会 計 報 告	会 計	徳 田 基
	クラブサービス報告	会 務 担 当	柴 山 一 雄
	出席奨励委員会報告	委 員 長	西 郷 隆 永
	職業分類委員会報告	"	春 山 ジャスティン
	会員選考委員会報告	"	島 津 忠 丸
	会員推薦委員会報告	"	岩 元 正 二
	プログラム委員会報告	"	福 田 敏 之
	広報委員会報告	"	河 井 時 義
	親睦委員会報告	"	中 村 善 治
	ロータリー情報委員会報告	"	倉 園 清 市
	会報・雑誌委員会報告	"	米 倉 秀 雄
	S. A. A 報 告	S. A. A	光 吉 正 昭
	職業奉仕委員会報告	委 員 長	栗 川 久 雄
	社会奉仕委員会報告	"	岩 田 太 一
	青少年奉仕委員会報告	"	岡 山 栄
	国際奉仕委員会報告	"	新 福 栄 熊
	講 評	ガバナー	日 高 安 壮
19:00	閉 会 の 辞	幹 事	高 井 敏 治
	懇 談 食 事		
	ロータリーソング(手に手つないで) 斉唱		

年次	月	日	事項	金額	備考
1911	12	1
1911	12	2
1911	12	3
1911	12	4
1911	12	5
1911	12	6
1911	12	7
1911	12	8
1911	12	9
1911	12	10
1911	12	11
1911	12	12

OS. R. R. R. C. T.

1911年12月1日

鹿児島西ロータリークラブ役員・委員会名簿

1969-7~1970-6

会	長(理事)	佐	伯	延次郎
副	会	長(")	久保田	彦穂
幹	事	高	井	敏治
副	幹	小	山	幸義
理	事	柴	山	一雄
	"	栗	川	久雄
	"	岩	田	太一
	"	岡	山	栄熊
	"	新	福	栄熊
会	計	德	田	基
S . A . A		光	吉	正昭
副S . A . A		外	西	寿彦

出席奨励	◎ 西郷	○ 浜田	鮫島	林
職業分類	◎ 春山	○ 牧田	小池	
会員選考	◎ 島津	○ 増竹	岩元(健)	
会員推薦	◎ 岩元(正)	○ 木原	高田	
プログラム	✓◎ 福田(敏)	○ 久保	川路	竹之内
広報	◎ 河井	○ 川上	塘	
親睦	✓◎ 中村	○ 若松	池田(稔)	高綱 渡辺 <i>142</i>
ロータリー情報	◎ 倉園	○ 幸泉	川村	
会報・雑誌	◎ 米倉	○ 福田(禎)	下野	有蘭 鮫島(兼)
職業奉仕	◎ 栗川	○ 土橋	岡元	土谷
社会奉仕	◎ 岩田	○ 森川	桜美(四)	藤安
青少年奉仕	◎ 岡山	○ 桜美(義)	高	中山 平原
インターアクト	◎ 岡山	○ 桜美(義)	柴山	
ローターアクト	◎ 岡山	○ 池田(広)	安楽	田平
国際奉仕	◎ 新福	△ 池田(広)	河井	米倉 岩田 福田(敏)
ロータリー賞推薦	◎ 久保田	○ 鮫島		

◎ = 委員長 ○ = 副委員長 △ = ロータリー財団委員長

漢字	平假名	カタカナ	ローマ字	備考
ア	あ	ア	A	
イ	い	イ	I	
ウ	う	ウ	U	
エ	え	エ	E	
オ	お	オ	O	
カ	か	カ	K	
キ	き	キ	KI	
ク	く	ク	KU	
ケ	け	ケ	KE	
コ	こ	コ	KO	
サ	さ	サ	S	
シ	し	シ	SI	
ス	す	ス	SU	
セ	せ	セ	SE	
ソ	そ	ソ	SO	
タ	た	タ	T	
チ	ち	チ	CHI	
ツ	つ	ツ	TSU	
テ	て	テ	TE	
ト	と	ト	TO	
ナ	な	ナ	N	
ニ	に	ニ	NI	
ノ	の	ノ	NO	
ハ	は	ハ	H	
ヒ	ひ	ヒ	HI	
フ	ふ	フ	FU	
ヘ	へ	ヘ	HE	
ホ	ほ	ホ	HO	
マ	ま	マ	M	
ミ	み	ミ	MI	
ム	む	ム	MU	
メ	め	メ	ME	
モ	も	モ	MO	
ヤ	や	ヤ	YA	
ユ	ゆ	ユ	YU	
ヨ	よ	ヨ	YO	
ラ	ら	ラ	R	
リ	り	リ	RI	
ル	る	ル	RU	
レ	れ	レ	RE	
ロ	ろ	ロ	RO	
ワ	わ	ワ	WA	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	

漢字	平假名	カタカナ	ローマ字	備考
カ	か	カ	K	
キ	き	キ	KI	
ク	く	ク	KU	
ケ	け	ケ	KE	
コ	こ	コ	KO	
サ	さ	サ	S	
シ	し	シ	SI	
ス	す	ス	SU	
セ	せ	セ	SE	
ソ	そ	ソ	SO	
タ	た	タ	T	
チ	ち	チ	CHI	
ツ	つ	ツ	TSU	
テ	て	テ	TE	
ト	と	ト	TO	
ナ	な	ナ	N	
ニ	に	ニ	NI	
ノ	の	ノ	NO	
ハ	は	ハ	H	
ヒ	ひ	ヒ	HI	
フ	ふ	フ	FU	
ヘ	へ	ヘ	HE	
ホ	ほ	ホ	HO	
マ	ま	マ	M	
ミ	み	ミ	MI	
ム	む	ム	MU	
メ	め	メ	ME	
モ	も	モ	MO	
ヤ	や	ヤ	YA	
ユ	ゆ	ユ	YU	
ヨ	よ	ヨ	YO	
ラ	ら	ラ	R	
リ	り	リ	RI	
ル	る	ル	RU	
レ	れ	レ	RE	
ロ	ろ	ロ	RO	
ワ	わ	ワ	WA	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	
ヰ	ゐ	ヰ	WI	
ヱ	ゑ	ヱ	WE	

8-0101-10-0

会 長 報 告

会 長 佐 伯 延 次 郎

私たちのクラブは、会員数も発足当初の二倍以上になり、その活動はいよいよしっかりと軌道にのってきています。会員すべてが一致して努力した過去六ヶ年余の歴史の成果であります。

それで、私は、この成果を大切に、先輩の築いた軌道を進めば、大綱において誤ることはなからうと信じます。歴史と伝統のありがたさを感じざるを得ません。

だが、ここまで来て、同時に考えねばならぬことは、これで十分だとの安心が、実は大きな危険をはらむということです。なぜなら、活動が軌道にのったということは、また、停滞とマンネリ化の可能性も多くなったことを意味するからです。

個人がすでにそうですが、とくに組織体は、たえず自らのありかたを反省・検討して、自らを新たにしていけることがなければ、硬化して、ただ惰性によって動くということになりがちであります。そうなったとき、生命と発展は期待できません。過去の歴史や伝統は、貴重な意味を持つものではありますが、他方、生命を圧迫し、発展と創造を阻害する面を持っているのです。過去の成果に、これでよいと満足するのではなく、検討と改新の必要なゆえんであります。

こう考えるとき、コンウェイ R. I. 新会長が提示された "Review and Renew" というテーマは、私たちのクラブの新年度活動方針の根底として、まさにぴったりだと私は思います。要は、ロータリー活動の各分野でこのテーマを具体化して、実践することにあります。

私は私たちのクラブの今日までの歴史と伝統を尊重しつつ、しかも、"検討と更新"を忘れないことを基本方針としたいと考えます。

幹 事 報 告

幹 事 高 井 敏 治

今年の秋は373区の初めての地区大会が鹿児島で開催され、コホストクラブとして、鹿児島クラブに協力して立派に成功させたいものです。青少年交換学生が二人来鹿しますが、当クラブは今年度の幹事クラブになっております。南薩地区の新ロータリークラブ設立の援助も続けて行きます。

大津バスターの月信に当クラブは友愛にみちた出席率のよいクラブ、インターアクトと国際奉仕につよいクラブであると紹介されました。コンウェイR I会長も検討し更新しようと云っております。創立7年にもなりましたのでこういうよい所はのばし、至らない所は改めて、新しく迎えた会員とよく結んで行きたいと思ひます。

ク ラ ブ 概 況

1. 創 立 年 月 日	昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日
2. 承 認 年 月 日	昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日
3. チャーターメンバー	2 5 名 (内 現 会 員 1 5 名)
4. 本 年 度 当 初 会 員 数	5 9 名
	退 会 者 2 名
5. 現 在 会 員 数	正 会 員 5 4 名
	シニア・アクティブ会員 3 名 計 5 7 名
6. 平 均 年 齢	5 2. 8 才 最 高 7 3 才 最 低 2 4 才
	2 0 才 台 1 名 3 0 才 台 6 名
	4 0 才 台 1 3 名 5 0 才 台 2 1 名
	6 0 才 台 1 4 名 7 0 才 台 2 名
7. 出 席 率	9 9. 7 0 % (4 3. 8 ~ 4 4. 7)
8. 予 算	末 尾 の 通 り
9. 入 会 金	1 5, 0 0 0 円
10. 年 会 費	5 6. 0 0 0 円
11. ビジター会費	5 0 0 円
12. 会 報	週 報 を 毎 週 発 行

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

〇 〇 〇 〇 〇

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

... (Faint text paragraph) ...

〇 〇 〇 〇 〇

- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| 13. ロータリアン誌 | 5名購読 |
| 14. クラブアッセンブリー | 2回（あと3回以上開催予定） |
| 15. クラブフォーラム | 4回開催予定 |
| 16. 炉辺会合 | 1回（あと数回開催の予定） |
| 17. 理事会 | 定時理事会 毎月第2週例会日に開催
臨時理事会 必要に応じ適時開催 |
| 18. 県下R、C会長幹事会 | 年2回輪番で開催
お互いに意見の交換を行っている。 |

会 計 報 告

会 計 徳 田 基

基本方針

クラブ財産と資金を確実に保管し、常にその収支を明確にすると共に、各委員会活動が活発円滑に行われるように財務の基盤強化に努め度い。

計 画

一般会計と別途会計（ニコニコ箱収入）の現況を理事会に随時報告して、クラブ活動の推進に資する。

ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告

会 務 担 当 柴 山 一 雄

基本方針

年次計画を立てそれによって実施すべく、各委員長連絡協議会を開いて各委員の連絡を密にし会務の円滑並に能力的な運営を促進する。

計 画

1. 年度事業計画を立てる。
幹事と連絡し事業計画（前年度反省会、委員長連絡協議を参考とす）
2. 円滑且能力的運営

理事会に各委員長の意向を伝え且理事会の意向を各委員長に伝え円滑なる運営を促進する。

3. 委員長連絡協議会を適時に実行する。

業 績

8月5日クラブ奉仕小委員会を開き、各委員会間の連絡を密にした。

出席奨励委員会報告

委員長 西 郷 隆 永

委 員 浜 田 啓

“ 鮫 島 志芽太

“ 林 幸 光

基本方針

前年度の会員数の増加に鑑み、各委員会との協力を密にして、本年度も100%の出席率を維持。

計 画

1. 地区大会など上級大会への出席を奨励。
2. 会員が欠席した例会の日より4日以内に未だその補填の通知がない場合、電話又は手紙でメモ・アップするよう依頼。
3. 本年度も地区内出席率ベスト10の維持。
(本年は地区が二分したのでベスト5をねらいたい)

業 績

出席を良くするため、デスク・カードを会員に贈った。

例会出席状況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイクアップ	出席訂正率	ゲスト	ビジター
275	44. 7. 3	58	44	14	75.86	12	96.55	0	14
276	10	57	44	13	77.19	11	96.49	0	17
277	17	57	48	9	84.21	8	98.25	3	23
278	24	57	48	9	84.21	8	98.25	1	12
279	31	57	42	15	73.68	14	98.25	2	21
5回	計	286	226	60	395.15	53	387.79	6	87
平均		57	45	12	79.03	10	97.56	1	17

職業分類委員会報告

委員長 春山 ジャステン

委員 牧田 健二

" 小池 鉄太郎

基本方針

1. 当クラブ区域内のあらゆる事業及び専門的職業を調査する。特に重要な専門化の傾向に注意する。また区域外で働いていても、その居住所が区域内にある人の職業分類も可能なかぎり調査する。
2. 上の調査に基づき当クラブ区域に適した職業分類一覧表を作成し検討する。更に事業所は区域外であるが、現在クラブの区域に居住している人々の職業分類別のリストを作成したいと思う。
3. 未充填部門について、会員選考委員並びにクラブ会員全体に積極的に働きかけ、新会員の充填を図りたいと思う。

表 1 研究対象者の属性

本研究は、1970年代後半から1980年代前半にかけて、日本の経済成長に伴って、労働市場が急激に変化した。この変化は、労働者の意識や行動にも大きな影響を与えた。本研究は、この変化を背景として、労働者の意識や行動を調査し、その変化を明らかにすることを目的としている。

研究対象者
調査方法
調査期間

研究結果の概要

項目	属性	性別	年齢	学歴	職業	収入	調査回数	調査期間
1	男性	25	40	15	1000	10	2000	1
2	女性	30	35	20	1200	10	2000	2
3	男性	35	30	25	1500	10	2000	3
4	女性	40	25	30	1800	10	2000	4
5	男性	45	20	35	2000	10	2000	5
6	女性	50	15	40	2200	10	2000	6
7	男性	55	10	45	2500	10	2000	7
8	女性	60	5	50	2800	10	2000	8

研究の結論

4. 尚、この一覧表は全会員に配布し、ロータリーの1業1人の原則の重要性や、職業分類は社会への奉仕によって決定せられ、その人の保持する地位によるものでないことの認識を深めるようにしたい。

計 画

1. クラブ区域の調査
2. 新充填及び未充填職業分類一覧表の作成・配布
3. 未充填部門に対する候補者推薦を会員より求める。
4. 委員会を開催し、会員の増強を積極的に働きかける。

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委員長 島 津 忠 丸

委 員 増 竹 成 紀

“ 岩 元 健 吉

基本方針

特に職業分類委員会との連絡を密にし、作成されたクラブの充填及び未充填職業分類の一覧表を検討して未充填の開放された職業分類を充填するよう適当な人物を理事会にすいせんする。

すいせんに当っては、その人となりに重点を置き、本人の人格及び名声に非難の余地があるかないかは勿論の事、例会への几帳面な出席の可能性に就いて充分検討する。

計 画

年間の新会員増加10%を目標として計画を進める。

会 員 推 薦 委 員 会 報 告

委員長 岩 元 正 二

委 員 木 原 良

“ 高 田 光 義

基本方針

各委員会特に職業分類委員会と緊密なる連絡を探り、未充填職業分類を充填するよう適当なる人を推薦する為積極的活動をする。

1. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

2. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

第一	第二	第三	第四
第一	第二	第三	第四
第一	第二	第三	第四

本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

1. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

2. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

3. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

4. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

5. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

6. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

7. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

第一	第二	第三	第四
第一	第二	第三	第四
第一	第二	第三	第四

本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

1. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

2. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

3. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

4. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

5. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

6. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

7. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

8. 本行在 1954 年 1 月 1 日以前...

計 画

定期的会合を催し、絶えず未充填職業分類の再検討をしたい。

プログラム委員会報告

委員長 福田 敏之

委員 久保 政次

” 川路 清高

” 竹之内 安己

基本方針

① 全員ビジターが喜んで聞き、例会に出席して良かったと思うようなプログラムを工夫したい。
編成に当ってはバランスとバラエティを考え、内容はロータリーにふさわしい品格と親和感があり、有益なものであるように努力したい。

このため、クラブ全員の協力を得て、卓話者の開発を図ってゆきたい。

計 画

1. 例会の卓話は原則として、ゲスト50%、会員25%、映画25%という従来の方針を続けてゆく。
2. ゲストが偏らないようプログラム委員が交互に企画を出しあい、卓話者の紹介も委員が交替で行なうことにしたい。
3. 予定の例会より少なくとも1カ月前から十分に計画してゆく。

広報委員会報告

委員長 河井 時義

委員 川上 鉄太郎

” 塘 一 郎

基本方針

ロータリー精神とクラブ活動の情報を提供して、ロータリーに対する地域社会の認識と理解を

その一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

、 第 一 部
第 三 下 部 第 部
第 三 部 本 部 第

第 三 部 本 部 第 一

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

、 第 一 部
第 三 部 第 一
第 三 部 第 一
第 三 部 第 一

第 三 部 本 部 第 一

第 三 部 本 部 第 一 第 三 部 本 部 第 一

4

深めるように努める。 そのために

1. 会員各自にロータリー情報を把握して貰うために、情報委員会、プログラム委員会、会報雑誌委員会等と密に連絡し、情報伝達に努める。
2. マスコミ関係者にクラブの対内的、対外的活動情報を提供し、地域社会の理解を深めるように努める。
3. 会員に各自の地域活動は尤も有力な広報活動であることを認識して貰うように努める。

計 画

1. 新会長の方針と抱負は、既に地元新聞に掲載された。
2. マスコミ関係者に、クラブ活動、職業奉仕、社会奉仕、及国際奉仕活動に関する資料を提供する。
3. マスコミ関係者を例会に招待する。
4. マスコミ関係者との座談会を開催したい。
5. インターアクト・クラブの活動資料を広報する。

親 睦 委 員 会 報 告

委員 長 中 村 善 治

委 員 若 松 新 一

” 池 田 稔

” 高 綱 博 明

” 渡 辺 匡

基 本 方 針

友愛と親睦が会員の心の中から生れ出よう関係委員会とよく連絡し、親睦の機会を削り方策を講じ、友好関係の増進を謀る。特に当クラブは新入会員が多いので、クラブの親睦の中に融け込むよう配慮する。

計 画

1. 毎月第一例会日に、その月の該当者に誕生祝、結婚祝の記念品を贈り、尚、誕生者にはバースデイソングを歌い祝福する。(従来通り)
2. 新会員が早く融け込んで頂く為、現在行なわれている三分間スピーチを続けて貰うが、あまり心の負担とならないよう努める。
3. 同時に新入会員に先輩特に元会長等の長老をよく知って貰う為、これら先輩のスピーチや週報への投稿等をお願いする。
4. 県外ビジターに対しては、同一職業分類の会員とか或いは経験豊かな会員をお願いして歓迎

1. 本會之目的在於...
 2. 本會之組織...
 3. 本會之經費...
 4. 本會之職權...
 5. 本會之附屬...
 6. 本會之解散...
 7. 本會之修改...
 8. 本會之其他...

中華民國教育會

1. 本會之目的在於...
 2. 本會之組織...
 3. 本會之經費...
 4. 本會之職權...
 5. 本會之附屬...
 6. 本會之解散...
 7. 本會之修改...
 8. 本會之其他...

の意を表し、くつろがれるよう留意する。

5. 家族会を開催する。

秋の観月会 冬のクリスマスパーティ 春のインドゥーゲーム

6. 会員を中心とするスポーツを開催する。

春と秋の予定

7. 今年は県下クラブ親善球技大会の当番クラブでもあるのでクラブ間の親睦増進のため、クラブ対抗の諸行事を積極的に推進する。

ロータリー情報委員会報告

委員長 倉園清市

委員 幸泉芳良

” 川村 洋

基本方針

1. 新入会員へ、ロータリアンとしての特典や義務を理解させることに努力し、同化を速めたい。
2. 会員へ、ロータリーの歴史、綱領及び活動の状況に関する色々の資料を提供し、奉仕活動への意欲向上に資したい。

計 画

1. 新入会員の炉辺会合
2. 歴代会長さんを週報に記載して新入会員に紹介する。
3. ロータリー関係の情報を週報に記載する。
4. 例会でインホメーションオをおこなう。
5. 新入会員に対する個別指導

業 績

8月18日 新入会員の炉辺会合を開いた。

会報・雑誌委員会報告

委員長 米倉秀雄
委員 福田 穰
" 下野隆三
" 有蘭敷男
" 鮫島志芽太(兼)

基本方針

1. 読み易く親しみ易い週報を発行する。
2. 毎週何か会員に書いて頂くことを考えて居る。

業績

本年度から週報を印刷で発行している。

S . A . A 報 告

S . A . A 光吉正昭

副S . A . A 外西寿彦

基本方針

1. 例会の雰囲気を明るく和やかなものとするよう努力する。
2. ニコニコボックスの収入増加を図る。

計 画

1. 例会開会の20分前に出席して、会場の準備を終え、気持ちよく来訪ロータリアン、会員の方々を迎えられるようにする。又ロータリーソング以外の適当な歌を昨年同様追加し、例会を一層和やかなものとしたい。
2. ニコニコボックスについては、親睦委員、及び全会員の方より、情報の提供をお願いし、ニコニコボックスを通じて相互の親睦と理解を深めるようにしたい。

1. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

2. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

3. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

第 A. A. 条

1. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

2. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

3. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

4. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

5. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算之。

職業奉仕委員会報告

委員長 栗川久雄

委員 土橋英夫

” 岡元健一郎

” 土谷久雄

基本方針

クラブ全会員は「ロータリー精神をめいめいの職場に生かそうとして努力している」が、当委員会としては、職業奉仕の理想実現へのよすがというか、てがかりというか、そういったものを提供していきたい。

計 画

基本方針に沿って、つぎのような行事を計画し実行したい。

1. 職場訪問
2. 高校生との話し合い
3. 優良職業人の表彰
4. 中小企業労使懇談会

社会奉仕委員会報告

委員長 岩田太一

委員 森川盛満

” 桜美四郎

” 藤安辰造

基本方針

所属地域社会をよく知り、何が最も切実に要求されているかを発見するように努める。当クラブで、これに対処し得る可能性を検討して、やれば出来ることから実行してゆき、地域社会の改善向上に奉仕したい。尚、この際クラブ内の関係諸委員会、社会の関係諸団体との連携、協力についても十分に考慮したい。

... (faint text) ...

- 1. ...
- 2. ...
- 3. ...
- 4. ...

... (Section Header) ...

... (faint text) ...

- 1. ...
- 2. ...
- 3. ...
- 4. ...

... (Section Header) ...

計 画

1. 地域内の福祉、公共、教育、教養、保健事業の実態を例会卓話、あるいは直接の接触で認識する。
2. 地域都市の安全運動、美化運動への協力。
3. 社会福祉施設の勤務職員の激励と感謝。
4. 災害見舞、義援など予算の範囲内で積極的に行ないたい。
5. ローター賞についても益々充実したものにした。

社会連部と連絡する

青少年奉仕委員会報告

委員長	岡 山 栄
委 員	桜 美 義 明
"	高 義 朗
"	中 山 和 春
"	平 原 定 一 郎

基本方針

青少年達に何が必要かを求め、これを手助けしたい。

計 画

1. ローターアクトクラブの結成に着手する。
2. インターアクトクラブを後援する。
3. 招待学生等に奉仕する。
4. ワンダーフォーゲル運動に協力する。

- 1. 1951年1月1日以前出生者
- 2. 1951年1月1日以后出生者
- 3. 1951年1月1日以前出生者
- 4. 1951年1月1日以后出生者

附 录

附录一：1951年1月1日以前出生者

附录二

姓名	性别	出生年月	籍贯	职业
张一	男	1915	山西	工人
李二	女	1920	河北	农民
王三	男	1925	山东	商人
赵四	女	1930	河南	教师
孙五	男	1935	浙江	医生

附录三：1951年1月1日以后出生者

- 1. 1951年1月1日以后出生者
- 2. 1951年1月1日以后出生者
- 3. 1951年1月1日以后出生者
- 4. 1951年1月1日以后出生者

附录四：1951年1月1日以后出生者

国際奉仕委員会報告

委員長 新 福 栄 熊

委員 池 田 広

” 安 楽 慶一郎

” 田 平 礼 章

基本方針

国際理解と親善及び平和をもたらすように努力したい。

このために

1. わが国を外国に理解して貰うと、同時に
2. われわれ各自が、それぞれの国または人間を理解するように努めたい。
3. この線にそって当クラブとして実現可能と思われることから、実行にうつしてゆきたいと思う。

計 画

1. 世界理解週間中に留学生を例会に招待する。
また、クリスマス・パーティにインターアクト会員を一緒に招待する。
2. 地区或は鹿児島市内3RCと協力して、日米交換学生の世話をする。特に今年度は、鹿児島西RCが受入委員会のHostでもあるのでその責任を全うしたい。
3. 日本青年海外協力隊のことを研究して結論が出たら、これを応援したい。
4. 書画などマッチクラブと交換したい。
5. ロータリー財団の寄付を200%クラブから300%クラブとしたい。

附 表

昭 和 44 年 度 予 算 書

会 員 名 簿

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 一 覽 表

(別 紙)

昭和 44 年度 収支 予算書

1969-7~1970-6

(収入の部)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	293,331	
年会費	3,500,000	28,000円×60 28,000円×65
雑誌代	82,500	660円×60 660円×65
入会金	120,000	15,000円×8
ロータリー財団寄付金 (入会時)	28,800	3,600円×8
ピジター会食費	435,000	500円×870
雑収入	18,000	預金利息ほか
合 計	4,477,631	

(支出の部)

費 目	予 算 額	摘 要	
事 務 局 関 係	人件費	472,500	事務員給料, 夏期年末手当
	通信費	50,000	郵便料, 電話料等
	事務用品費	18,000	事務用品一切
	印刷費	20,000	公式訪問報告書等印刷代
	厚生福利費	25,000	健康保険料ほか
	旅費	5,000	諸車代
	図書費	8,000	新聞代ほか
借室料	72,000	6,000円×12	
小 計	670,500		
委 員 会 関 係	出席奨励	50,000	表彰記念品代
	会員選考	1,000	
	会員推薦	1,000	
	職業分類	7,000	職業分類表, 印刷代
	親睦	130,000	誕生祝, 結婚記念祝, 家族会補助, スポーツ大会負担金ほか

費 目		予 算 額	摘 要	
委 員 会 関 係	プログラム	35,000	卓話謝礼	
	ロータリー情報	43,000	ガバナー月信(500円×58) ロータリー手帳 文献代等	
	広 報	3,000		
	会報・雑誌	130,000	ロータリーの友(82,500円) 週報印刷代	
	職業奉仕	30,000	優良職業人表彰, 職場訪問費ほか	
	社会奉仕	100,000	表彰関係, 災害見舞ほか(ロータリー賞を含む)	
	青少年奉仕	120,000	ワンダーフォーゲル負担金, インターアクト援助ほか	
国際奉仕	220,000	交換学生受入負担金 研究グループ交換資金(500円×60)		
小 計	870,000			
国 際 ロ ー タ リ ー 関 係	人頭分担金	180,000	1,440円×60	1,440円×65
	ロータリー財団寄付金	21,600	360円×60	
	ロータリー財団寄付金 (入会時)	28,800	3,600円×8	
	米山記念奨学寄付金	37,500	300円×60	300円×65
小 計	267,900			
地 区 関 係	地区大会	839,500	分担金, 登録料等(12,500円×63) 参加提出金(1,000円×52)	
	地区協議会	100,000	登録料, 旅費, 宿泊費	
	地区資金	87,500	700円×60	700円×65
	地区国際青少年資金	37,500	300円×60	300円×65
	万国博協力金	24,750	250円×60	150円×65
	札幌聖火台協力金	6,250	50円×60	50円×65
小 計	1,095,500			
そ の 他	拡大事業費	30,000		
	会議費	50,000	会長・幹事会登録料, 理事会 クラブ協議会補助ほか	
	会食費	1,404,000	例会食事代	
	雑費	70,000	前会長, 幹事記念品代ほか	
	備品費	10,000		
小 計	1,564,000			
予 備 費	9,731			
合 計	4,477,631			

品名		数量	單位	金額
第一類

第二類

第三類

第四類

合計	

基金特別負担金

(収 入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	278,358	
基金特別負担金	40,000	5,000円×8(新会員)
雑収入	8,000	預金利息
合 計	326,358	

ニコニコ寄付

(収 入)

費 目	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	82,711	
寄付金収入	120,000	
合 計	202,711	

会 員 名 簿

	氏 名	職 業 分 類	動 務 先		自 宅
1A	安 楽 慶一郎	焼 酎 製 造	安 楽 酒 造 (株)	代表取締役 宇宿町 248の1 県酪農ビル内	高麗町615
✓2	有 齒 敷 男	相 互 銀 行	(株)旭相互銀行	常務取締役 山下町1の1	田上町 2624の2
✓3F	福 田 敏之	民 間 放 送	(株)南日本放送	常務取締役 高麗町17	草牟田町 4195
4	福 田 稔	自 動 車 販 売	南九州三菱自動車販売(株)	取締役社長 照国町12の9	新屋敷町15の1 横小路ビル301
5	藤 安 辰 造	味 噌 製 造	藤 安 醸 造 (株)	取締役社長 住吉町6の15	住吉町6の20
✓6H	林 幸 光	洋 楽	鹿児島短期大学	教 授 永吉町450	西田町58の6
7	浜 田 馨	酒 類 販 売	(株)浜田酒店	取締役社長 高麗町192	同 左
✓8	春 山 ジャスティン	キ リ ス ト 教 (新 教)	日本基督教団鹿地区	宣 教 師 上荒田町137	同 左
9	平 原 定一郎	商 業 銀 行	(株)鹿児島銀行武町支店	支 店 長 武町429	坂元町 2261の17
10	外 西 寿 彦	産 婦 人 科 医	鹿児島市立病院	産婦人科部長 加治屋町20	宇宿町 1153の10
✓11I	岩 元 健 吉	シニア・アクティブ (製 綿)	カクイわた(株)	取締役社長 郡元町927	郡元町1172
12	岩 元 正 二	織 維 品 販 売	山形屋商事(株)	常務取締役 堀江町8	高麗町143
13	岩 田 太 一	和 菓 子 製 造	(名)明石屋菓子店	取締役社長 金生町3	西千石町129
14	池 田 広	放 射 線 科 医	池田放射線診療所	医 師 上之園町28	同 左
15	池 田 稔	洋 菓 子 販 売	池田製菓(株)	専務取締役 錦江町3の2	上荒田町 108
✓16K	河 井 時 義	外 科 医	河井外科医院	院 長 高麗町183	同 左
17	川 村 洋	百 貨 店	(株)山形屋	常務取締役 金生町3の1	下荒田町 2247
✓18	川 路 清 高	医 学 教 育	鹿児島大学医学部	教 授 城山町7の82	新照院町154

1	三
2	三
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

	氏 名	職 業 分 類	勤 務 先			自 宅
19	川 上 鉄太郎	ホテル(日本式)	城山観光(株)	常務取締役	新照院町95	原良町1315
20	久保政次	ゴム製品販売	(株)久保利商店	取締役社長	名山町1の4	大竜町4の16
21	久保田彦穂	文 芸	鹿児島女子短期大学	教 授	郡元町1333	長田町146
22	倉園清市	信用金庫	鹿児島相互信用金庫	専務理事	泉町2の3	下荒田町72
23	栗川久雄	高等学校	県立鶴丸高等学校	校 長	薬師町34	下荒田町440
24	小山幸義	ホ テ ル	(株)鹿児島ホテル鶴鳴館	取締役社長	城山町5の30	同 左
25	小池鉄太郎	洋 画	鹿児島大学教育学部	教 授	上荒田町 1946	薬師町398
26	幸泉芳良	鉄鋼販売	幸泉交易(株)	専務取締役	泉町3の7	伊敷町63
27	木原良	短期金融	富士銀行鹿支店	支店長	金生町7の25	天保山町106
28M	牧田健二	内科医	牧田医院	院 長	上本町2の5	同 左
29	増竹成紀	外国為替銀行	(株)三井銀行鹿支店	支店長	金生町5の1	薬師町32
30	光吉正昭	請負業	小牧建設(株)	常務取締役	西千石町 2の35	鴨池町471
31	森川盛満	ガレージ及びサービスステーション	(株)玉里自動車練習所	常務取締役	下伊敷町 292の7	原良町1450
32N	中村善治	セメント販売	(株)神田商店	専務取締役	住吉町1の3	薬師町1374
33	中山和春	鉄道車輛修理	国鉄鹿児島工場	工場長	上荒田町 800	郡元町24 唐湊国鉄宿舍
34O	岡元健一郎	病 院	鹿児島大学付属病院	泌尿科部長	城山町8の3	城山町7の13
35	岡山栄	会 計 士	岡山公認会計士事務所	所 長	薬師町53	同 左
36S	西郷隆永	電気器具販売	南九州コンバーター普及(株)	取締役社長	武町506 県医師会館内	鴨池町507
37	桜美四郎	シニア・アクティブ(瓦斯供給)	桜ビルディング(株)	取締役社長	武町415	上之園町37

行	品名	規格	單位	數量	金額	備註
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

	氏名	職業分類	勤務先			自宅
38	桜美義明	雑貨販売	桜物産(株)	常務取締役	武町415	上之園町37
39	鮫島志芽太	新聞発行	(株)南日本新聞社	専務取締役	易居町1の5	上荒田町62
40	佐伯延次郎	短期大学	鹿児島県立短期大学	学長	下伊敷町104	清水町11の19
41	柴山一雄	歯科医	柴山歯科医院	院長	山下町9の31	同左
42	島津忠丸	土木建築	新九州建設(株)	常務取締役	吉野町磯9688	清水町31の15
43	新福栄熊	自然科学	鹿児島経済大学	教授	下福元町8850	玉里町3465
44	下野隆三	近海運	(株)共進組	総務部長	易居町11の19	原良町3135
45	高井敏治	砂糖販売	(株)高井商店	専務取締役	泉町13の20	加治屋町5の21
46	高田光義	石油販売	南国殖産(株)	常務取締役	武町431 南国日本生命ビル内	天保山町88の3
47	高網博明	生命保険	日本生命保険鹿支社	支社長	武町431 南国日本生命ビル内	谷山塩屋町 字下笹貴 1668の1
48	高義朗	絹織物製造	大島紬織糸工業(株)	副社長	鴨池町999	同左
49	田平礼章	整形外科医	田平整形外科病院	副院長	加治屋町16の5	加治屋町11の17
50	竹之内安己	私立学校	鹿児島短期大学	教授	永吉町450	稲荷町15の25
51	土橋英夫	シニア・アクチブ(産婦人科医)	土橋病院	院長	西田町10	西田町12
52	土谷久雄	経済学教育	鹿児島経済大学	学長	下福元町8850	鴨池町1026
53	塘一郎	工業教育	鹿児島大学工学部	教授	鴨池町52	伊敷町1の2 伊敷栄門 住宅4号
54	徳田基	公証人	鹿児島公証人役場	公証人	山下町17の12	照国町11の23
55	若松新一	澱粉製造	鹿児島物産化工(株)	総務部長	宇宿町185	郡元町1389
56	渡辺匡	タクシー業	(株)南州	代表取締役	武町428	上竜尾町40の3
57	米倉秀雄	公立病院	鹿児島市立病院	副院長	加治屋町20の17	吉野町9688

